

予算審査特別委員会

第63号議案・令和5年度白石市一般会計補正予算（第3号）から第67号議案・令和5年度白石市病院事業会計補正予算（第1号）の計5議案について、定例会2日目（6月8日）の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会（委員長・大森貴之、副委員長・保科善一郎）は、6月9日に審査を行い、全ての議案について、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決しました。審査の中で議論された主な点は次のとおりです。

◎令和5年度白石市一般会計補正予算(第3号)

総務費

を見込むものである。市はこの活動への連携協力を目的として、本年4月25日に包括連携協定を締結したところである。

〔質疑〕歳入に教育費寄付金として20万9千円を計上しているが、具体的な内容を伺う。

〔答弁〕株式会社アスタスが運営する寄付サイト「OSSUSO（おすそ）」に本市がパートナーとして参画することにより、白石きぼう学園等教育分野への協賛企業からの新たな寄付金

〔質疑〕財政調整基金の残高は、

令和4年度末現在で約32億円であったが、6月補正後は約12億2千万円となり、かなり減少する。豪雨や地震等の災害発生時、この基金で応急復旧費等を賄わなければならないと思うが、この12億円という額について、どのように考えているか伺う。

〔答弁〕昨今、各地で地震やゲリラ豪雨、線状降水帯による災害が起きている。令和元年台風、令和3年2月、令和4年3月の福島県沖地震を思い出すと、20億円ぐらいまでは戻したいと考えている。

農林水産業費

〔質疑〕人・農地プラン作成事業について、10年後のビジョンを見据えたプランを作成することだが、具体的にどのような計画なのか伺う。

〔答弁〕本市では、令和4年1月、ホームページで市内9地区の「実質化された人・農地プラン」を公表している。このプランは、令和4年5月の法制化により「地域計画」として、農地の維持管理を主とした、10年後の計画が見えるよう色塗りをした目標地図を作ることが事業の最終目的である。

これにより、今後、各地域で農地をどのように利用集約していくか明確にしていく計画である。

土木費

〔質疑〕私道等の整備補助金として、99万6千円を計上しているが、どのような場合に私道に対し、補助が受けられるのか伺う。

〔答弁〕私道等の整備補助金交付要綱において、幅員が4メートル以上かつ延長が35メートル以上あること、私道の一端が市道等に接していること、私道に面して5世帯以上が居住していること等を基準として定めている。

した仮想「ミニミニ」の設定、「個々の教員の対応力」とデジタルによる外部人的資源を活用した「バックアップ体制」の強化により、心の病気の未然防止と初期対応を図ることができないか検証を行うものである。

〔質疑〕本市において、精神疾患により休職している教員はどのくらいいるのか。

〔答弁〕令和3年度4人、令和4年度3人、今年度現在2人という状況である。

◎令和5年度白石市病院事業会計予算(第1号)

教育費

〔質疑〕公立学校教員メンタルヘルス対策事業の内容について伺う。

〔答弁〕教職員の精神性疾患による休職者の増加と教職員不足の状況から、文部科学省の調査研究委託事業に応募し、採択されたものである。

事業の内容は、ICTを活用

〔質疑〕公立刈田総合病院の3階病棟の床改修については、現在使用されていない病棟についても工事することだが、空き病棟の今後の利用計画について伺う。

〔答弁〕空き病棟の今後の利用については、指定管理者とも話し合い、検討していくこととなるが、床については部分的ではなく、全面的に改修を行うことで、経費の削減が図れるものと考ええる。